

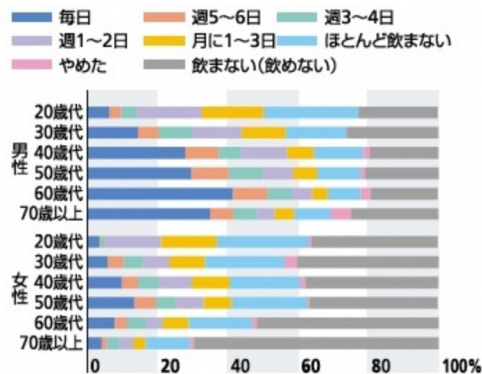
令和5年度地域課題解決型先端サービス実装化支援事業 「web3等先端技術を用いた会津清酒の消費拡大事業」

会津清酒の特徴

- ✓ 福島県の会津地域で製造される日本酒
 - ✓ 「全国新酒鑑評会」において数多くの受賞歴あり
- ✓ 会津若松市には江戸時代早期から多くの酒蔵が存在
 - ✓ 会津若松市内で15軒、会津地方で約40軒の蔵元が存在
(福島県内の半数)

若年層のアルコール離れ

- ✓ 特に20代を中心とする若年層でアルコール離れ
- ✓ 清酒の消費拡大には若年層への接触機会向上が必要



(出所) 厚生労働省「令和元年国民健康・栄養調査」よりニッセイ基礎研究所作成資料を引用)

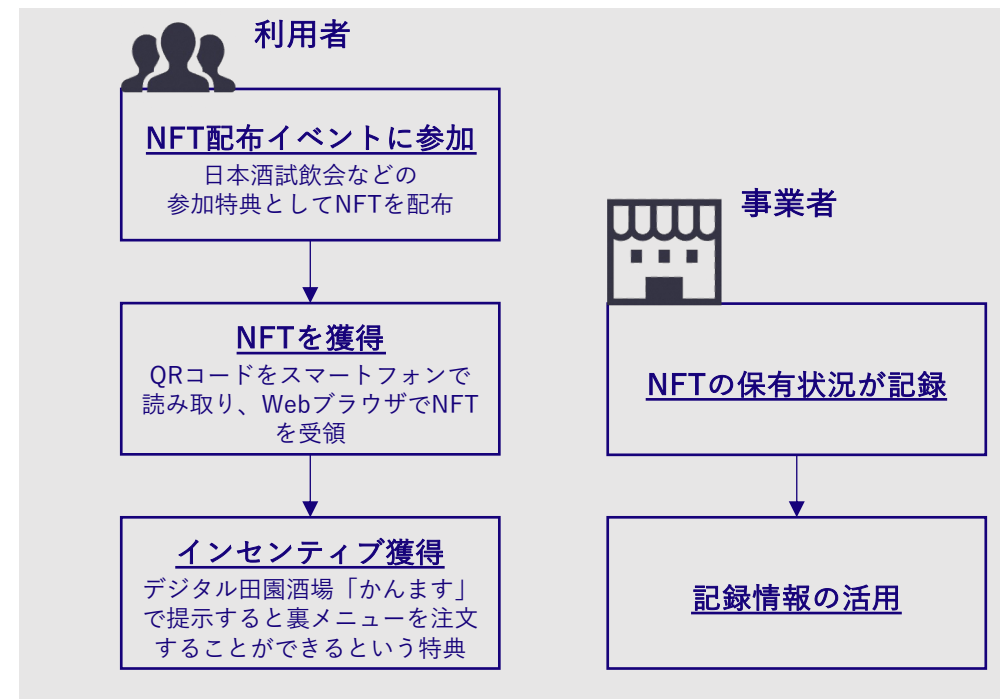
実証事業の概要

- ✓ NFTを用いた会津清酒の消費拡大
- ✓ NFTの耐改ざん性や追跡可能性を利用した新しいマーケティング方法の模索

NFTを活用することの狙い

- ✓ **NFT獲得を動機とした**参加者の積極的な事業参加
- ✓ NFTの関心層である**2、30代への**会津清酒の魅力発信

全体像



実施体制

- ✓ 進出企業として「みずほ銀行」が企画/運営を実施。
- ✓ 地域企業である「株式会社シンク」に協力頂き、配布イベント、デジタル田園酒場 かんますにおける NFT 保有者向けの特典付与、イベント運営を支援。
- ✓ みずほ銀行の関連会社である「株式会社Bluelab」が、プロジェクト推進、実証事業結果取り纏め支援。
- ✓ NFT等の先端技術は、「SUSHI TOP MARKETING 株式会社」のサービスを利用。

株式会社みずほ銀行



株式会社シンク



本社：福島県会津若松市
インター西105
代表：高橋 正法

「かんます」の運営母体

株式会社Blue Lab



本社：東京都港区
虎ノ門1-17-1
代表：田中 豊人

イベント等の
支援

SUSHI TOP MARKETING 株式会社



本社：東京都千代田区
丸の内2-3-2
代表：徳永 大輔

(外部委託)
NFT機能
開発

構築したサービス

NFTカード（おもて）



NFTカード（うら）



NFT受領画面



- ✓ QRコードを読み取り、ブラウザで受領できるといった簡易的な操作で受取可能
- ✓ QRコードの読み取り時にスタンプラリーにも押印され、更なるイベント参加意欲を促進

スタンプラリー画面

実施結果

配布NFT

- ✓ 各イベントごとに固有のデザインを使用
- ✓ 若年層をターゲットにすべく、Vtuberを登用
- ✓ 試飲した新酒ラベルが描かれているデザイン



試飲ブースでの対応



- ✓ NFTの概要や受取手順を説明
- ✓ 試飲者の約3割が20代
- ✓ 地元民だけでなく観光客も来店

今後の課題

事業で採用したNFTについて

- ✓ 今回、NFTを金融商品（暗号資産・有価証券）として扱うことについて法的に整理できず、NFTの提示によって利用者が受けられるメリットは裏メニューの提供にとどまった。
- ✓ 今後はより一層効果的なものにするべく、法的な整理（各社役割・体制の変更）を進め、NFTの提示によって酒造の隠し酒がもらえるような金銭に代わるインセンティブを検討していきたい。
- ✓ 今回は上記の法的未整理に起因してSBTを用いたが、今後はEthereumなど譲渡可能なトークンを利用してNFTの譲渡も可能にすることで認知拡大の貢献に繋げたい。
- ✓ また、NFTの譲渡はデータ上で追跡が可能であり、分析を通じて更に接点を増やすための施策立案に繋げていく。

他事業との連携について

- ✓ 株式会社みずほ銀行は、会津コインを展開しており、インセンティブに活用するなどの施策を企画。
⇒NFTに関わらず、地元の商店街での活用を検討する。